

# サル痘を防ぐには？？

## どんな病気？

「サル痘ウイルス」によって感染する病気です。潜伏期間5～21日（通常7～14日）の後、**発熱**、**頭痛**、**リンパ節の腫れ**、**筋肉痛**などが1～5日続き、その後、**発疹**が出現します。**発疹**は**水ぶくれ(水疱)**になり、最後には**かさぶた**になってはがれ落ちます。多くは2～4週間で自然に回復します。



## どうやってうつるの？

感染した人の皮膚病変、体液、血液などに触れた場合	長時間、飛沫(ひまつ)を吸った場合	感染した人の使ったタオルや寝具を一緒に使った場合

表のような感染経路でうつりますが、現在の流行の感染原因の多くは**性交渉による感染**です。

## ワクチンや治療薬はあるの？

天然痘ワクチンは、サル痘の患者との接触後に発症・重症化を予防する効果が期待されています。また、天然痘治療薬についても、海外ではすでにサル痘への有効性が確認されており、現在、**一部の医療機関**において、サル痘感染者への治療薬の投与、接触者へのワクチン接種に関する臨床研究が行われています。

## ワクチンは希望すれば打てるの？

現在、ワクチンの臨床研究の対象者は確定例と接触した人に限られています。  
海外でもワクチンの対象者は、確定例と接触があった人などに限定されています。

## 他に予防法はあるの？

感染の危険を高める可能性のある行動を避けるために、以下のことを心がけましょう。

### ①新しいパートナーと出会ったときには連絡先の交換をしましょう

出会った時には症状がなくても、その後にサル痘が発症することもあります。  
お互いの健康状態の把握のため、連絡先を交換する習慣をつけましょう。

### ②自分や相手に感染の疑いがある場合はキスやハグ、性交渉を避けましょう

### ③不特定多数との性交渉は避けましょう

複数のパートナーと性交渉をするような集まりは、サル痘が広まる可能性が高くなるため避けましょう。

### ④性交渉時はコンドームを使用しましょう

発疹は体の様々な部分にもできるため、コンドームだけでサル痘への感染をすべて防ぐことはできませんが、コンドームは、肛門、口、性器をサル痘ウイルスから守ることができます。

### ⑤性行為の後は、手やリネン類（寝具、タオル、衣服）を必ず洗いましょう

リネンの共用は避け、性行為の後は速やかに洗濯するようにしましょう。

## サル痘が疑われる場合はどうすればいいの？

性交渉から3週間以内にサル痘を疑う症状が見られた場合、**お住いの地域を管轄する保健所または医療機関に電話で**相談してください。受診の際には、周りの人にうつさないように、**飛沫が飛ばないようにサージカルマスクを着用し、水疱を含む皮膚病変はガーゼなどで覆う**などの対策をした上で受診しましょう。

## 同居のパートナーがサル痘と診断されたら？

感染を防ぐため、サル痘と診断された人の肌や、顔に直接触れないようにしましょう。食器やタオル、寝具などの共有、食べ物の口移しなどは避けましょう。濃厚接触者に該当した場合は、保健所の指示にしたがってください。